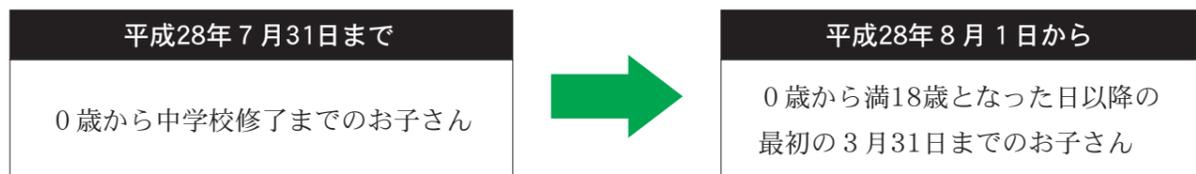


福祉医療費制度(マル福)のお知らせ

対象年齢を18歳まで拡充します～8月1日から～

八峰町では、これまで中学校修了までのお子さんの医療費助成を行っていましたが、平成28年8月1日から対象年齢を18歳に引き上げます。対象となるお子さん(※)のいるご家庭に、福祉保健課から6月中旬に申請案内を発送していますので、お忘れの無いよう提出をお願いします。



※今回新たに対象となるのは、平成10年4月2日～平成13年4月1日生まれのお子さんです。
 ※すでに福祉医療費受給者証をお持ちの方は、申請の手続きはありません。(ひとり親・障害児)

福祉医療費受給者証交付(更新)について

現在お持ちの福祉医療費受給者証の有効期限が「平成28年7月31日」の方は、8月以降は使用できなくなります。更新の対象者には、7月末までに新しい受給者証を郵送します。また、所得制限により非該当となる方には、非該当通知を郵送します。ただし、町で平成27年中の所得が把握できない方(1月1日以降の転入者等)は、前住所地の所得課税証明書が必要となります。該当する方には別途通知を郵送します。

福 祉 医 療 費 受 給 者 証	
対象区分及び負担者番号	0 0 0 0 0 0 0 0
受給者番号	0 0 0 0 0 0 0 0
住 所	秋田県八峰町〇〇字〇〇
氏 名	八 峰 太 郎
生 年 月 日	〇〇 年 〇 月 〇 日
有 効 期 間	平成 年 月 日から 平成28年 7月31日まで
発 行 及 び	この有効期間が「平成28年7月31日」となっている方には、7月中に新しい受給者証を郵送します。
交 付 年 月 日	平 成 年 月 日
被保険者証(組合員証)と一緒にお医者さんの窓口に出してください。	

第2次八峰町総合振興計画基本目標

PART3 ～未来につながる活力ある産業づくり～

平成28年3月に策定された「第2次八峰町総合振興計画」。同年4月から平成37年までの10年間を計画期間としており、6つの基本目標を実現することで町の将来像「白神の自然と人とで創るやすらぎのまち」を目指します。6つの中から今回は「未来につながる活力ある産業づくり」の主な施策を紹介します。

基本目標	施 策
未来につながる活力ある産業づくり	(1) 農業の振興
	(2) 林業の振興
	(3) 水産業の振興
	(4) 商工業の振興
	(5) 企業の誘致及び企業支援の充実
	(6) 観光と物産の振興

- ### 6つの基本目標
- ①豊かな自然と共生するまちづくり
 - ②快適で安全な暮らしを支えるまちづくり
 - ③未来につながる活力ある産業づくり
 - ④安心して健やかに暮らせるやすらぎのまちづくり
 - ⑤彩り豊かな文化とふるさとをささえる人づくり
 - ⑥町民とつくるパートナーシップのまちづくり

(1) 農業の振興

基本方針
 「売れる」農産物の生産を図るため、市場等の需要動向を調査し、消費者に喜ばれる農産物販売戦略の強化を推進する。
 菌床しいたけについて、県J A、峰浜培養、生産農家等と連携し、生産量の拡大と農家所得の向上を目指す。

成果目標
 認定農業者数：243人(H27) ↓ 300人(H37)
 水稲以外の農作物販売額：8億円(H27) ↓ 15億円(H37)

具体的な施策
 経営基盤の充実：農繁期の労働力不足解消や効率的活用を目指す「農業ヘルパー制度」創設を支援するなど
 農業生産等の振興：県やJA、生産農家等と連携し、米に次ぐ販売実績の菌床しいたけの生産量の拡大と農家所得の向上を図るなど

(3) 水産業の振興

基本方針
 安定した漁獲量確保のため、これまでの獲る漁業から、つくり育てる漁業に転換する。魚価の安定を図るため関係機関と連携し、品質の向上・品質の統一化を図り、ブランド化を進める。
 漁業振興を図る上で障害にもなっている、後継者育成、新規参入者確保に努めるとともに、研修等の実施により漁業関係者による6次産業化を促進します。

成果目標
 漁家数：67件(H25) ↓ 67件(H35)
 漁業者数：123人(H25) ↓ 123人(H35)

具体的な施策
 資源管理型漁業の推進：陸上養殖企業などと連携し、養殖事業の拡充を促進するなど
 漁業を取り巻く環境整備の推進：魚価の回復を図るため、品質の向上と統一化といったブランド化を進めるなど

(6) 観光と物産の振興

基本方針
 ぶなっころんどを拠点とした、ジオパーク観光、エコツアーリズムに取り組み。地域の特産品を使ったブランド商品開発を進めるとともに、首都圏に売り込む。
 最新の凍結技術の導入を検討するとともに、はつぼうましブランド推進協議会等を母体に6次産業化に取り組み

具体的な施策
 八峰町ブランド商品の開発及び販路開拓：開発した八峰町ブランド商品の販路開拓
 6次産業化の推進：はつぼうましブランド推進協議会等で開発した商品をもとに、6次産業化に取り組みなど

2016年市町村振興宝くじ 7月6日水曜発売! 発売期間 7月6日(水)～7月29日(金) 抽せん日 8月9日(火)

今年はさらに盛り上がる! 夢おどる2つのサマー

7億7000万

7000万円×120本 (発売総額360億円・12ユニットの場合)

1等・前後賞合わせて7億円 1等5億円、前後賞各1億円

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

(公財)秋田県市町村振興協会